FUJITA KANKO

藤田観光株式会社

2026年12月期
第3四半期

決算説明資料

2026年11月5日
（証券コード：9722）







写真上から、ホテルグレイスリー札幌、ホテル椿山荘東京、箱根小涌園 天悠

連結　損益計算書

FUJITA KANKO

前年比　売上高　12.4億円増収、営業利益　9.3億円減益
（改装影響を除くと実質的には前年比増益）

・大規模な改装に伴う客室の売り止め影響があったものの、高付加価値商品の提供や欧米豪を中心としたインバウンドの獲得および需給動向に合わせた価格設定により、前年比増収
・婚礼部門の件数増および単価上昇が前年比増収を牽引
・改装に伴う一時費用や減価償却費、処遇改善による労務費など、費用増加により前年比減益

単位：百万円	2Q累計実績 1～6月	3Q実績 7～9月	2026年 3Q累計 実績	2025年 3Q累計 実績	前年比
売上高	40,755	19,134	59,890	58,646	+1,243
営業利益	6,270	1,589	7,860	8,798	▲937
経常利益	6,072	1,456	7,528	8,631	▲1,103
特別利益	5,999	-	5,999	25	+5,973
特別損失	-	29	29	83	▲54
税金等費用	4,056	421	4,477	2,837	+1,640
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,015	1,005	9,020	5,735	+3,284

売上高・営業利益　事業別内訳

FUJITA KANKO

WHG事業のADR上昇、ラグジュアリー＆バンケット事業の婚礼件数増が増収を牽引

・WHG事業はADR（客室平均単価）上昇が増収も、改装に伴う売り止め影響により減益
・ラグジュアリー＆バンケット事業は婚礼部門の件数増および単価上昇、料飲部門の利用人員増により増収増益
・リゾート事業はADR上昇により増収増益

単位：百万円	2Q累計実績 1～6月	3Q実績 7～9月	2026年 3Q累計 実績	2025年 3Q累計 実績	前年比
売上高	40,755	19,134	**59,890**	58,646	+1,243
WHG事業	24,370	11,384	**35,755**	35,717	+38
ラグジュアリー＆バンケット事業	10,444	3,867	**14,312**	13,638	+674
リゾート事業	5,219	3,535	**8,754**	8,351	+402
その他（調整額含む）	720	347	**1,067**	939	+128
営業損益	6,270	1,589	**7,860**	8,798	▲937
WHG事業	5,273	1,569	**6,842**	7,932	▲1,089
ラグジュアリー＆バンケット事業	956	▲561	**394**	260	+133
リゾート事業	68	605	**673**	641	+32
その他（調整額含む）	▲27	▲23	**▲50**	▲35	▲14

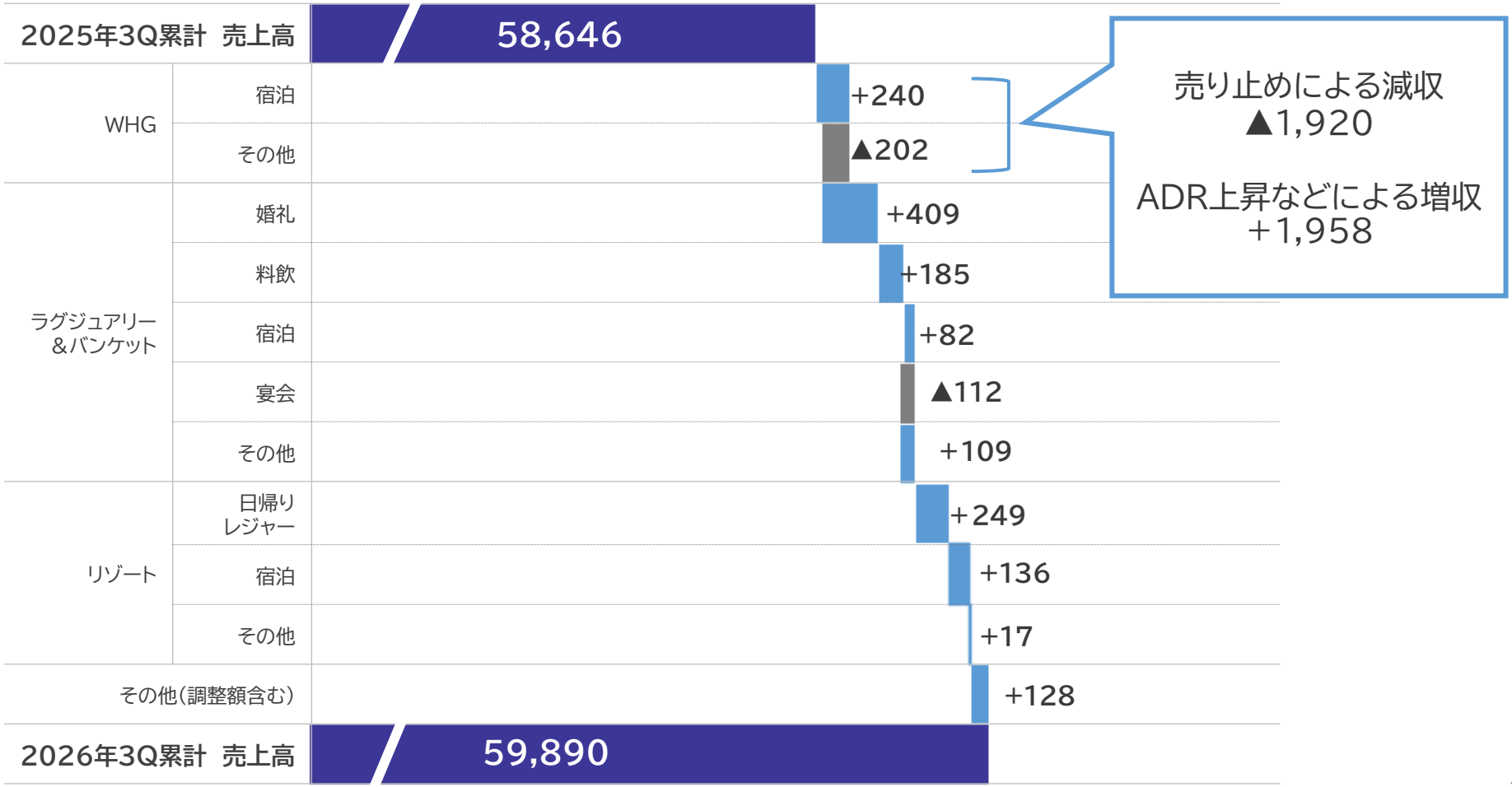
売上高 ―部門別増減―

FUJITA KANKO

宿泊部門、婚礼部門が増収を牽引
前年比 12.4億円増収

・売り止め影響により19億円減収も、ADR上昇および婚礼の利用人員増・単価上昇により増収

単位：百万円



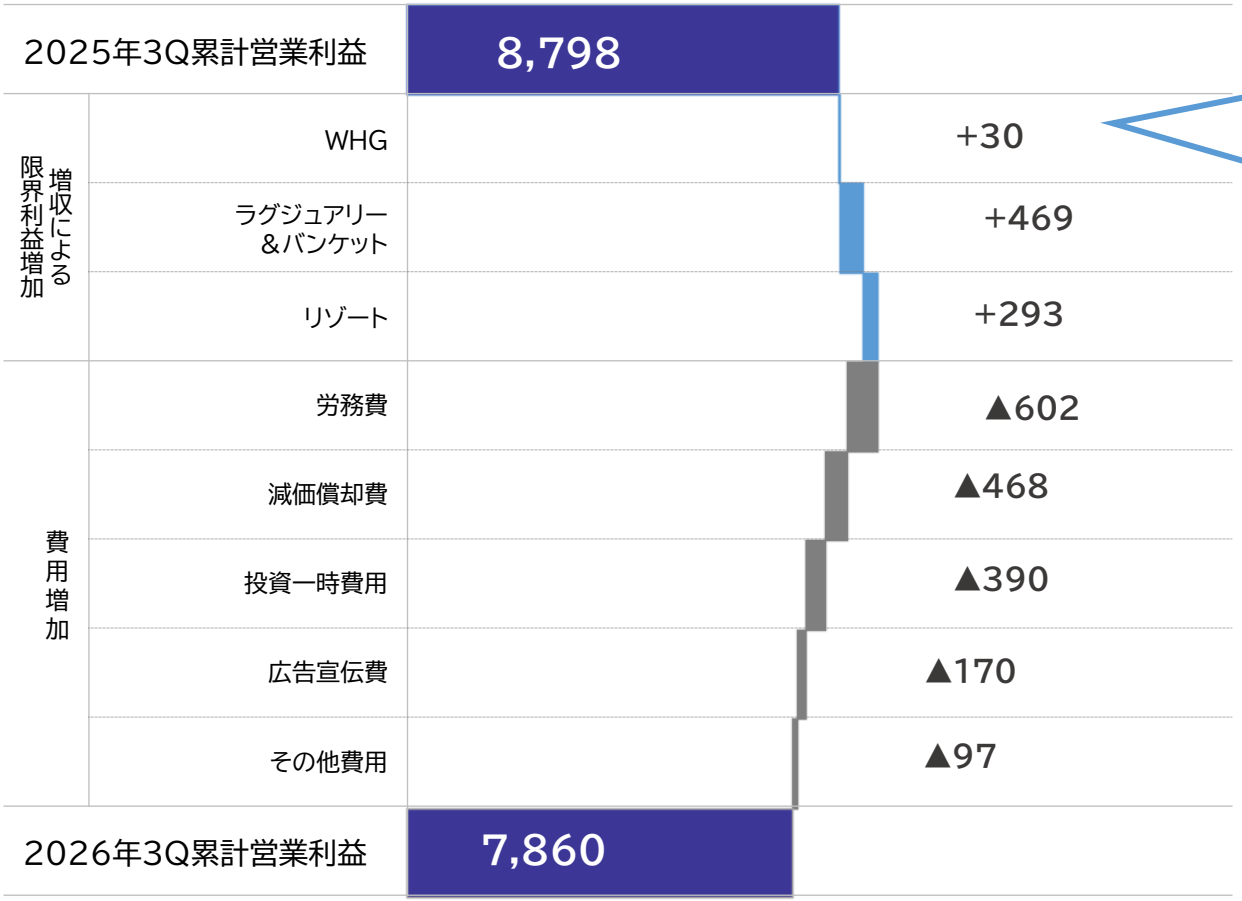
営業利益　―要因別増減―

FUJITA KANKO

費用増加が限界利益の増加を上回り、前年比減益
前年比 9.3億円減益

・付加価値向上施策の一環である改装に伴う減価償却費、投資一時費用増加により減益
・人材への投資と、客室改装など施設への投資を積極的に継続実施し、成長基盤を強化

単位：百万円



売り止めによる減益
▲1,447

ADR上昇などによる増益
+1,477

WHG事業

FUJITA KANKO

複数事業所において商品力強化を目的とした改装を実施
ADR前年比7%上昇、付加価値向上と海外セールス強化が着実に成果
前年比 0.3億円増収、10.8億円減益

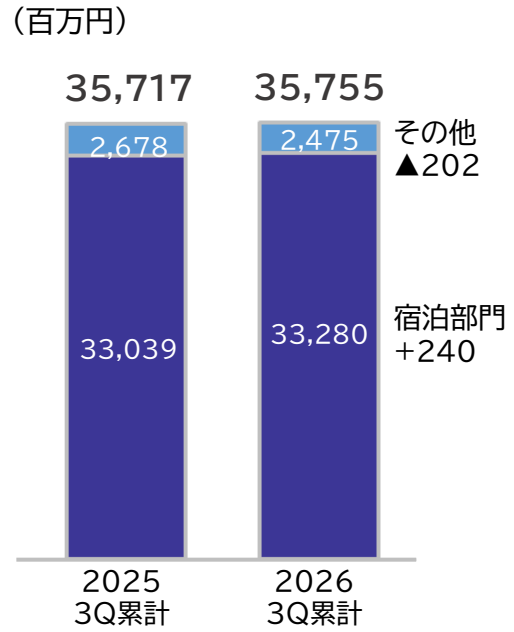
- 海外セールス強化により欧米豪を中心としたインバウンド需要を獲得
- インバウンド需要獲得および機能強化の改装が奏功し、1室あたりの利用人員が増加
- イールド機能強化により需要動向に合わせた価格設定を実施

} ADR上昇

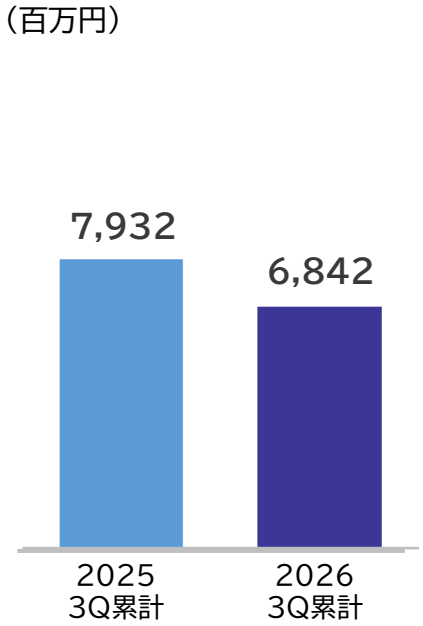
＜改装に伴う売り止めの状況＞
2026年1～9月　キャナルシティ・福岡WH、東京ベイ有明WH、HG札幌など、延べ売り止め客室数　約15万室

※ WH:ワシントンホテル　HG:ホテルグレイスリー

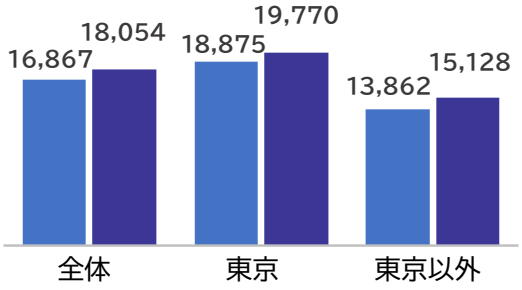
売上高



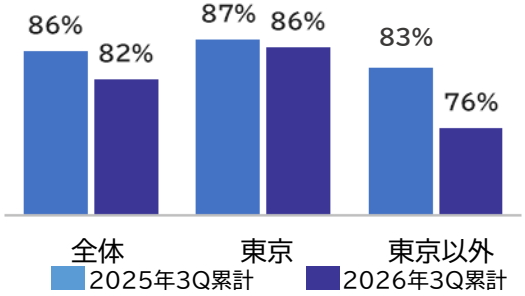
営業利益



ADR(円)



稼働率



※改装に伴う売り止め客室を除いた場合の稼働率

全体:89%
（前年比+2%pt）

※ 営業指標はWHGホテルズFC・MC施設およびサービスアパートメントISORAS CIKARANGを除く

ラグジュアリー＆バンケット事業

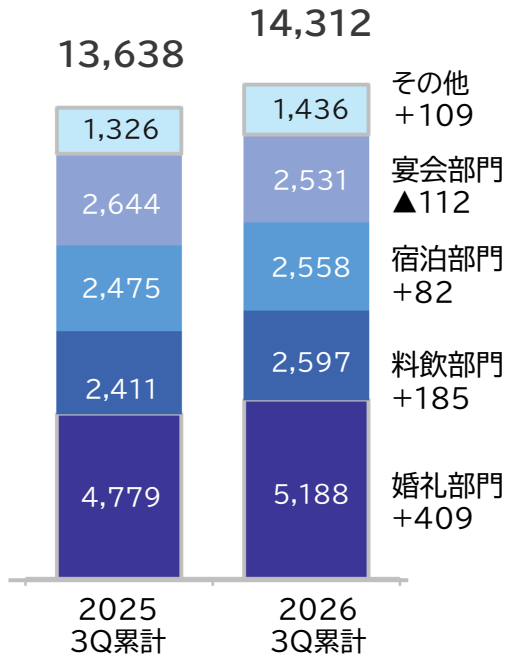
FUJITA KANKO

婚礼部門のハード・ソフト両面の付加価値向上による施行件数増・単価上昇により増収増益
前年比 6.7億円増収、1.3億円増益

「ホテル椿山荘東京」
・婚礼部門：宴会場改装や料理・飲物、装花などの商品力強化により施行件数増加・単価上昇
・料飲部門：慶事需要の獲得およびアフタヌーンティー企画が増収に寄与
・宿泊部門：海外プロモーションの継続実施により、欧米豪などのインバウンド需要を獲得

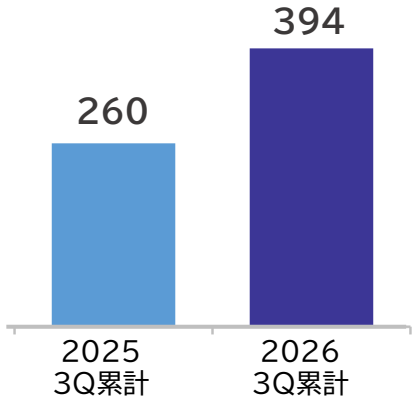
売上高

（百万円）



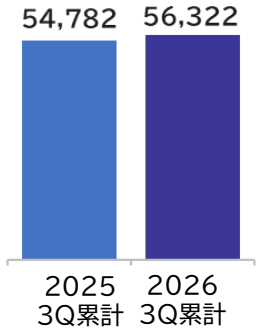
営業利益

（百万円）

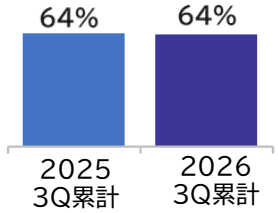


ホテル椿山荘東京

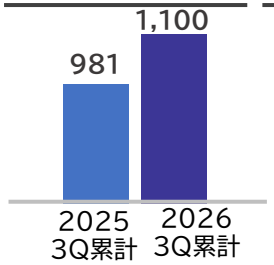
ADR（円）



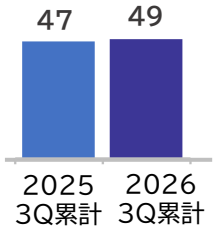
稼働率



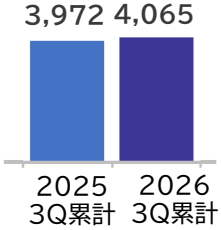
婚礼 施行件数（件）



婚礼 件当たり平均人数（人）



婚礼 件当たり単価（千円）



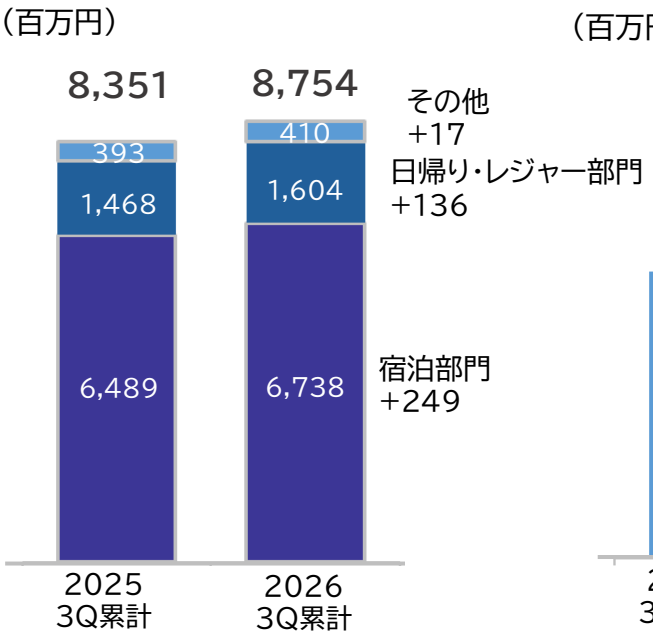
※婚礼施行件数、件当たり人数・単価は挙式のみの施行件数を含まず算出

リゾート事業

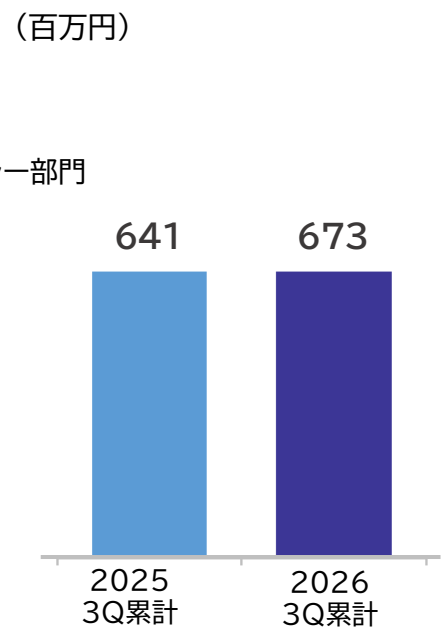
「箱根小涌園 天悠」「箱根ホテル小涌園」にてADR上昇（前年比7%上昇）
「箱根小涌園観光地化戦略」として、イベント開催などによる付加価値向上施策を継続実施
前年比 4.0億円増収、0.3億円増益

- 「箱根小涌園 天悠」　海外プロモーション強化によりインバウンド需要を獲得、高稼働を維持しつつADRが上昇
- 「箱根ホテル小涌園」 自社サイトでの販売強化などにより、夏季の国内ファミリー層の需要を獲得。需給動向に合わせた価格設定によりADRが上昇
- 「箱根小涌園ユネッサン」 企業・IPコラボレーションや「観光地化戦略」の一環としてのイベント開催などにより利用人員増

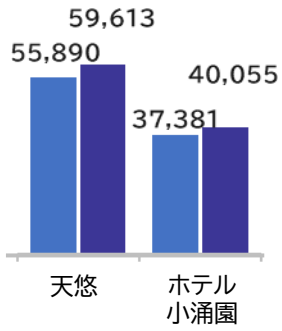
売上高



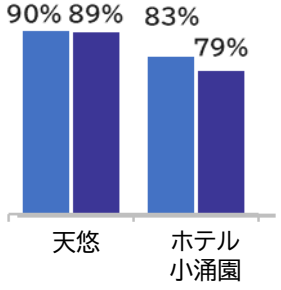
営業利益

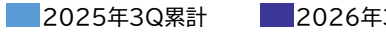


ADR（円）

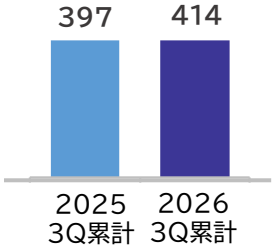


稼働率





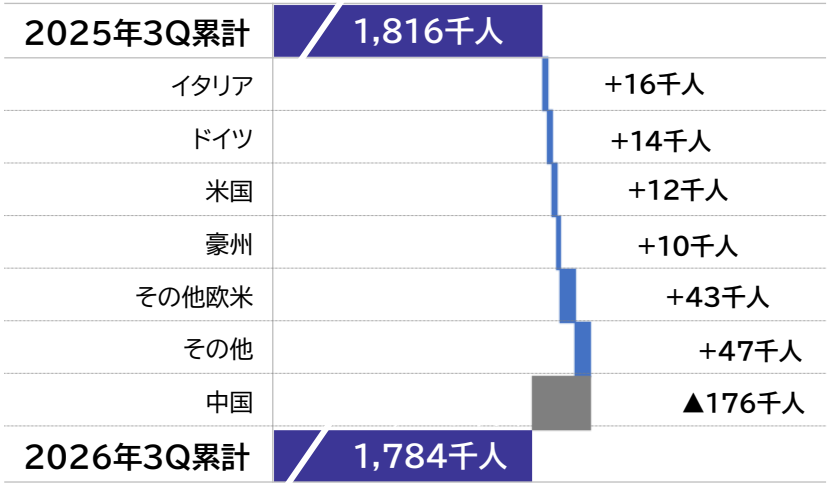
ユネッサン入場人員（千人）



インバウンドの状況

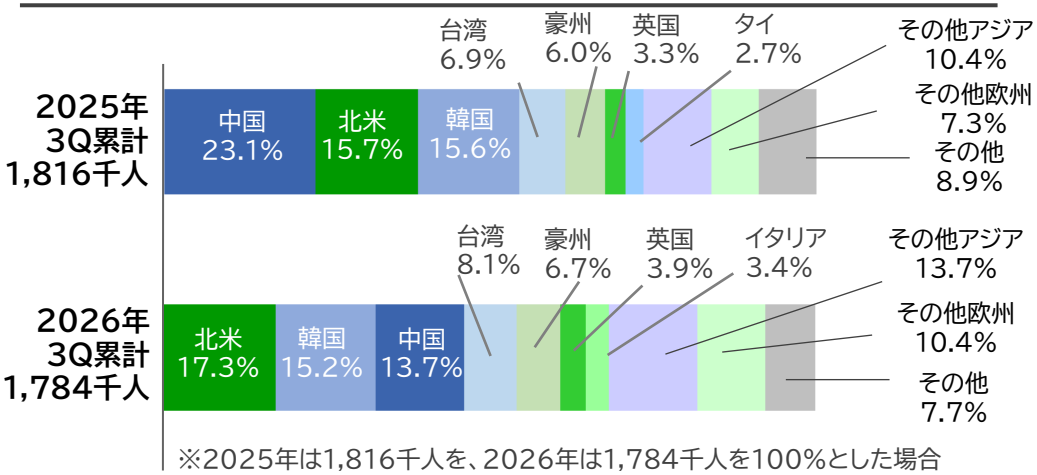
	2026年3Q累計 実績	前年比
インバウンド宿泊者数(国内事業所のみ)	1,784千人	▲1.8%
総宿泊者数(国内事業所のみ)	3,055千人	▲5.3%
インバウンド比率	58.4%	+2.1%pt
WHG全体	61.2%	+2.6%pt
ホテルグレイスリー新宿	94.7%	+0.1%pt
新宿ワシントンホテル(本館・ANNEX)	74.3%	+0.9%pt
ホテル椿山荘東京	36.6%	▲0.0%pt
箱根小涌園 天悠	51.2%	+0.5%pt
箱根ホテル小涌園	14.0%	▲5.7%pt

インバウンド宿泊者数　国別増減



中国からの宿泊者数が減少も、欧米豪などが増加し、ADR上昇

インバウンド宿泊者数　国別シェア



※2025年は1,816千人を、2026年は1,784千人を100%とした場合

欧米豪のシェアが4割超まで拡大

※中国の数値に香港からの宿泊者数を含む　※北米:米国およびカナダ

連結　貸借対照表

・投資有価証券の売却などにより、固定資産は前期末比 15.7億円減少
・借入金は前期末比 64.6億円減少の 211.9億円
・純資産は前期末比 70.5億円増加の 438.7億円

単位：百万円	2026年 9月末	2025年 12月末	増減
流動資産	21,448	20,676	+771
固定資産	76,577	78,157	▲1,579
資産合計	98,026	98,834	▲807
流動負債	25,466	29,366	▲3,900
固定負債	28,688	32,648	▲3,960
負債合計	54,154	62,015	▲7,861
純資産合計	43,871	36,818	+7,053
負債純資産合計	98,026	98,834	▲807
自己資本比率	44.8%	37.3%	+7.5%pt
借入金合計	21,194	27,655	▲6,461

トピックス

➢ WHGホテルズの拠点拡大を推進

ホテルグレイスリー伊勢（仮称）＜2028年秋 開業予定／128室（予定）＞

当社が三重県伊勢市の土地を取得し、新たに建築・運営する直営施設です。WHG直営施設初の温泉大浴場・ドライサウナを備える新たな展開モデルとして、観光・レジャー利用に適した「ホテルグレイスリー」ブランドの魅力をさらに高めてまいります。



ホテルグレイスリー伊勢（仮称）
※画像はイメージ

フランチャイズによる出店も推進

フランチャイズ15、16店舗目として「立川ワシントンホテル WEST WING（仮称）」（東京都立川市、2028年冬開業予定）、「SPA葉港（ようこう）の湯 ワシントンホテル佐世保駅前（仮称）」（長崎県佐世保市、2028年春開業予定）の出店を決定しました。今後もチェーンの拡大を通じて、お客さまの利便性を一層高めてまいります。

➢ WHGホテルズ改装の進捗

キャナルシティ・福岡ワシントンホテル
＜2026年9月リニューアルオープン、11月完工予定＞

2026年4月から5か月間全館休業し、客室・ロビーを全面改装、リニューアルオープンしました。ファミリーやグループ旅行のニーズに応え、2段ベッドを設置した客室を新設するなど、多様化する宿泊需要に対応することで、顧客満足度の向上を目指します。



キャナルシティ・福岡ワシントンホテル
2段ベッドを設置した
スーペリアバンクフォースルーム

ホテルグレイスリー新宿＜2026年8月完工＞

一部客室において、バスルームをシャワーブースへ変更し居住スペースを拡大するとともに、ベッドサイズを見直し、客室の快適性を高めました。高いインバウンド需要に応じた商品力強化により、付加価値の向上を図ります。

トピックス

➢ホテル椿山荘東京の有形固定資産の活用

新宴会場「フォレスタ」＜2026年10月完工＞

控室として使用していたスペースに、天井まで届く大きな窓から庭園を望む宴会場を新設しました。
キッチンを併設するとともに、東京の森と空を一望できるホワイエや専用ブライズルームを備えています。眺望と充実した付帯設備で差別化を図り、婚礼のほか多様な宴会ニーズにも対応し、婚礼・宴会部門における収益力の向上を目指します。


目前に広がる東京の森と空


庭園を望むホワイエ


会場に併設するキッチン


専用ブライズルーム

➢ルメルシェ元宇品改装の進捗

ルメルシェ元宇品　チャペルや控室などのリニューアル
＜2026年11月完工予定＞

チャペルのほか、控室、ブライズルームのリニューアルを実施します。
チャペルには照明と映像による演出を取り入れ、従来より人気の高いオリジナル人前式の演出の幅を広げることで、挙式体験の付加価値を高め、商品力・競争力の強化を図ります。


自然光や温かみある木目を活かしたチャペル

※画像はすべてイメージ

営業指標推移

FUJITA KANKO

		2025年				2026年		
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
WHG全体	稼働率	86%	87%	85%	83%	83%	81%	83%
	ADR	16,597円	17,821円	16,127円	20,095円	18,088円	19,342円	16,782円
WHG東京	稼働率	89%	89%	84%	84%	86%	86%	87%
	ADR	18,933円	20,237円	17,387円	22,794円	20,358円	21,438円	17,563円
WHG東京以外	稼働率	83%	85%	85%	82%	79%	72%	77%
	ADR	13,029円	14,179円	14,311円	15,952円	14,376円	15,582円	15,462円
ホテル椿山荘東京	稼働率	56%	75%	63%	80%	56%	76%	59%
	ADR	57,535円	55,483円	51,567円	55,853円	57,439円	55,852円	55,880円
箱根小涌園 天悠	稼働率	93%	87%	89%	95%	90%	89%	89%
	ADR	54,503円	57,992円	55,262円	60,255円	53,875円	61,811円	63,122円
箱根ホテル小涌園	稼働率	76%	79%	93%	83%	76%	73%	87%
	ADR	36,829円	34,568円	40,179円	37,267円	32,562円	38,728円	47,584円
ホテル椿山荘東京	婚礼施行件数	263件	444件	274件	600件	335件	493件	272件
	婚礼件当たり単価	4,127千円	3,980千円	3,808千円	4,182千円	4,086千円	4,044千円	4,078千円
	婚礼件当たり平均人員	50人	47人	45人	50人	50人	48人	47人
箱根小涌園 ユネッサン	入場人員	99千人	104千人	194千人	105千人	105千人	99千人	209千人

※ 営業指標はWHGホテルズFC・MC施設およびサービスアパートメントISORAS CIKARANGを除く

施設一覧(2026年11月5日現在)

FUJITA KANKO

WHG事業

≪宿泊≫ 34拠点 10,841室

■ワシントンホテル (19拠点 6,476室)		■ホテルグレイスリー (10拠点 3,165室)	
仙台	223室	札幌	407室
新宿(本館、ANNEX)	1,618室	銀座	270室
秋葉原	366室	田町	216室
東京ベイ有明	830室	浅草	125室
横浜桜木町	553室	新宿	970室
広島	266室	京都三条(北館・南館)	225室
キャナルシティ・福岡	422室	大阪なんば	170室
山形七日町【FC】	213室	那覇	198室
山形駅西口【FC】	100室	ソウル	336室
会津若松【FC】	154室	台北	248室
郡山【FC】	184室		
いわき【FC】	148室	■ホテルフジタ(1拠点 354室)	
立川【FC】	170室	福井【FC】	354室
木更津【FC】	146室		
燕三条【FC】	103室	■ホテルタビノス(3拠点 656室)	
関西エアポート【FC】	504室	浜松町	188室
関空泉大津【FC】	151室	浅草	278室
宝塚【FC】	135室	京都	190室
佐世保【FC】	190室		
		■サービス・アパートメント(1拠点190室)	
		ISORAS CIKARANG イソラス チカラン(インドネシア)	190室

リゾート事業

≪宿泊≫11拠点 554室

箱根小涌園 天悠	150室
箱根ホテル小涌園	150室
箱根小涌園 三河屋旅館	25室
箱根小涌園 美山楓林	15室
伊東小涌園	50室
伊東 緑涌	7室
藤乃煌 富士御殿場	25室
永平寺 親禅の宿 柏樹関	18室
湯河原温泉ちとせ【MC】	38室
ホテルやまなみ【MC】(山梨県)	26室
十和田ホテル【業務提携】	50室

≪レストラン≫ 3拠点

- レストランあかしあ亭(秋田県)
- 箱根小涌園 蕎麦 貴賓館
- 箱根小涌園 鉄板焼・しゃぶしゃぶ 迎賓館

≪レジャー≫ 5拠点

- 箱根小涌園ユネッサン
- 箱根小涌園 元湯 森の湯
- 箱根小涌園キャンプ&スパ 山の音
- Fuji Camp Base煌(藤乃煌 富士御殿場 敷地内)
- 下田海中水族館

ラグジュアリー&バンケット事業

≪宿泊≫ 1拠点 265室

ホテル椿山荘東京	265室

≪婚礼≫ 2拠点

- ルメルシェ元宇品(広島県)
- ザ サウスハーバーリゾート(広島県)

≪レジャー≫ 1拠点

- カメリアヒルズカントリークラブ(千葉県)

≪レストラン≫ 2拠点

- 東京大学伊藤国際学術研究センター内 レストラン【MC】
- 明治大学 紫紺館 フォレスタ椿山荘【MC】

FC:フランチャイズ方式
所有と経営・運営ともにオーナー企業に帰属し、当社はブランド使用権の貸与と運営を指導

MC:マネジメントコントラクト方式
所有と経営はオーナー企業に帰属し、当社は運営を受託

【開業予定】

- 大阪和泉中央駅前ワシントンホテル(2027年2月)
- SPA葉港の湯 ワシントンホテル佐世保駅前(2028年春)
- ホテルグレイスリー伊勢(2028年秋)
- 立川ワシントンホテル WEST WING(2028年冬)

※施設名はすべて仮称

主な自社所有地

ホテル椿山荘東京

【概要】
所　在　地　：　東京都文京区
敷 地 面 積 ：　49千㎡（路線価1,210千円/㎡　2026年7月1日国税庁発表）
用 途 地 域 ：　都市計画法による第二種住居地域
　　文京区風致地区条例による第二種風致地区（高さ制限15m）（1971年指定）
指定建蔽率：　60%
指定容積率：　300%

箱根小涌園　（箱根小涌園 天悠・箱根ホテル小涌園・箱根小涌園ユネッサン　他）

【概要】
所　在　地　：　神奈川県足柄下郡箱根町
敷 地 面 積 ：　795千㎡（路線価54千円/㎡　2026年7月1日国税庁発表）
用 途 地 域 ：　自然公園法による第二種特別地域C区域　※うち一部は宿舎事業地指定
　　都市計画法による第一種住居地域、第3種観光地区
指定建蔽率：　自然公園法第二種特別地域C区域…30%
指定容積率：　自然公園法第二種特別地域C区域…90%

会社概要

上場取引所	東京証券取引所プライム市場
社名	藤田観光株式会社
証券コード	9722
単元株式数	100株
事業年度	毎年1月1日～12月31日
基準日	12月31日
配当金支払株主確定日（普通株式）	12月31日および中間配当を実施するときは6月30日
定時株主総会	毎年3月
発行済株式の総数	61,037,120株
発行可能株式総数	220,000,000株
決算期	毎年12月31日

IR担当部門　（お問合せ先）
藤田観光株式会社　企画本部　経営企画部
TEL：03-5981-7722
https://www.fujita-kanko.co.jp/ir/index.html

注意事項：

当資料は、藤田観光グループの業績および今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではございません。
また、注記を行っている場合を除き、2026年9月30日現在のデータに基づいて作成しております。
尚、当資料に掲載された予測等は作成時点での当社の判断であり、経営環境の変動により今後変更される可能性がありますのでご了承ください。
当資料の転載はご遠慮ください。